

令和7年度第3回佐倉市産業振興推進会議 議事録(要録)

日時:令和8年3月25日(水) 15時00分～16時40分

会場:佐倉市役所 議会棟2階 第4委員会室

出席委員	大島委員長・池澤委員・半谷委員・金子委員・江川委員・宮澤委員・石渡委員 (欠席:鈴木副委員長・塚本委員、山中委員・小林委員・坂本委員)
事務局	(経済環境部)和田部長、徳若理事 (魅力推進部)鈴木部長 (農政課)榎課長、八角副主幹、志津主査 (商工振興課)岩井課長、山口副主幹、小野木主査、今川主査補、杉山主査補、市川主任主事 (佐倉の魅力推進課)柴田課長
傍聴	0名

開会 事務局より開会

1 経済環境部長あいさつ

2 議題

(1)産業振興ビジョンの中間見直しについて

事務局から概要を説明

【資料①-1】第2次佐倉市産業振興ビジョン(見直し案)

【資料①-2】パブリックコメントにおいて寄せられた意見と市の考え方

<質疑応答、意見>

A 委員:ただいまの説明についてご質問、ご意見等ありましたらお願いします。

A 委員:産業振興ビジョンにつきましてはこの推進会議の中で何度も議論しており、また、前回のときに、皆さんの大体の合意をえておりますので、私としては十分意見は尽くされているものと考えています。

それでは産業振興ビジョンの中間見直しの報告については以上でよろしいでしょうか。
→全員承認。

(2)産業振興ビジョンの進捗について

事務局から概要を説明

【資料②】佐倉市産業振興ビジョン進捗管理シート(令和7年度)

<質疑応答、意見>

A 委員:商業振興の起業塾、受講者の創業者数に関し、佐倉で何人起業されたというのは市の方でわかるのか。

→事務局(商工振興課): 追跡のアンケート調査をしており、件数等の把握はしている。商工会議所から受講者のうち創業者数と、個別に相談を受けた方の創業者数についても報告をいただいている。

A 委員: 農業振興において、新規就農の方が累計42名就業されたということだが、これもやめてしまう方というのはどのぐらいいるか。

→事務局(農政課): 正確な数字は把握していないが、おそらく1割弱ということで、ほぼ定着していると考えていただいてもよい。

B 委員: 観光振興について、川村美術館の問題と、ふるさと広場での工事が始まったのは仕方ないことだが、そういう中でそれに代わる、例えばふるさと広場完成するまでの間に何かできないかと思っている。例えば、印旛沼周辺のサイクリング道路。

→事務局(佐倉の魅力推進課): ふるさと広場完成は令和11年の3月を予定しており、そこに向けて、今、県の方でも隣接する水辺やサイクリングロードについて、鹿島川沿いの堤防上を今、自転車道として整備している。ふるさと広場と城下町地区を、船や自転車で結びつけられるような整備として令和11年の3月に向けて色々なものを準備中である。また、千葉市、八千代市と連携し、幕張から花見川、新川を通過して印旛沼を結んだ「うみさとライン」というものを行っている。そこでサイクリングを楽しんでいただくと同時に、一緒に同じ日にイベントを組んだり、来年度は印西市もそこに加わるので、印旛沼を一周ぐるっと回れるようにしたり、そんな楽しみが増えるものと考えている。

A 委員: 印旛沼からつなげるという船の話はよく聞くが、どのぐらいの実現性がある話・計画になっているのか。

→事務局(佐倉の魅力推進課): 船着場の整備を行うが、今、市が持っている船は10人ぐらいいしか乗れない船で、収益などを考えると、なかなか船で結ぶというのは難しい。また、その船もだんだん老朽化してしまっており、その辺りも含め入れ替えのタイミングで考えていきたい。

A 委員: やはり民間の投資が入らないと難しいとは思っているので、市役所の方で具体的な数字、計画というか案をお願いしたいと思う。

→事務局(佐倉の魅力推進課): ふるさと広場について指定管理者を募集しており、その指定管理者をお願いしていく中で、水上のアクティビティ、カヌーであったり、SAP と言われるようなものであったり、何か水上で楽しめるものをお願いしたいと思う。今年度も、土日は船を乗れるようにはなっていたが利用者が少ないので、ふるさと広場がリニューアルし、来るお客さんも増えれば営業的にも成り立つのではないかとと思う。

C 委員:船でどこへ着いて、着いてから城下町地区へ歩くのか。

→事務局(佐倉の魅力推進課):今整備しようとしているのは、田町御三階の、鹿島橋からちょっと上流部分のところで、そこから本当は船に自転車も乗せられたらいいと思っている。そこから歩いて城下町へ行くのは、健康な人は問題ないが、そうでないとなかなか難しいと思う。

C 委員:果たして城下町地区まで行くかどうかというと、坂道を上ることになるので難しい。また、今「桜に染まるまち 佐倉」を掲げているが、京成佐倉駅を降りて、桜が一本も見えないと言われた。他のエリアの取組というのを知っているのなら、もう少し考えたほうがいいのかなと思った。

→事務局(佐倉の魅力推進課):まず、船を降りて城下町地区へという話について、車で行ってもいいし、自転車も進めようと思っているが、あくまでも船というのは手段の1つとしてとらえていただきたい。また、城下町地区をもっと魅力的に、目的地となるようにしないと、いくら交通手段を整備したところで城下町地区に行かないので、これから城下町地区の魅力アップについてもやっていきたい。次に、「桜に染まるまち 佐倉」について、駅を降りて桜がないことは承知でおこなっているが、桜の咲く時期もわからないし、咲かない時期でも佐倉に来てもらう工夫として、毎年、創意工夫を凝らしているつもりである。

D 委員:印旛沼で釣りをしている人に聞いた話だが、印旛沼に蓮の花が満開に咲くところがあるそうだ。せっかく船があるので、その時期その辺りをクルーズして回ったらお客さんが来るのではないかと思った。

E 委員:サイクリングロード土手沿いに花などを植えることはできないのか。木は土手を壊してしまうからだめだという話があるようだが。

→事務局(佐倉の魅力推進課):土手沿いに桜を植えたらいいというお話もよく聞くが、土手を壊すので桜は植えてほしくないという話があり、菜の花などであればいいのかなと思う。

C 委員:印旛沼に関する委員会に1回パネリストとして参加した覚えがあって、その時に今印旛沼のことをやるには他の市町村との連携が必要だということであった。サイクリングロードにしても然りなのでその辺はうまくやってほしい。

→事務局(魅力推進部長):今、関係性は印西市とも酒々井町ともいいので、それこそ佐倉マラソンのときは、印西市長も酒々井町長も来て、印西市長は佐倉市長と一緒に3キロ走ると言っている。そういった連携は必要だなと思う。

F 委員:外国人向けのツアー造成を成田空港と連携して取り組まれたという話があったが、ターゲットを外国人以外の人にしたものを行ってはどうか。

手前どもの仕事の関係で言うと、町おこしが上手くいっているのは、例えば宇都宮で餃子を町おこしにつなげて、餃子を扱っている店舗が組織化し、今はもう自走化して、いろんな共同の販売イベントなども精力的にやっている。県内で言うと、勝浦のタンタンメン、あるいはいすみ市で大原漁港の港の朝市ということで、結構浸透してきている。割と民間活力を高める呼び水として、我々の中小企業の組合制度を活用していたりするので、いかに自走化するまで、行政あるいは会議所がハンズオンで支援するかというのが肝だとは思いますが、自走化を図る際のツールとして、我々が取り扱っている組合制度などがある。

若い人を呼び込むための1つの手段として、この会議でも以前案内した特定地域づくり事業協同組合という制度もある。手前ども中小企業の支援機関として連携というところを支援しているので、佐倉市で何かやろうというときに、個の力ではやはり限界があると思うので、力を組み合わせる、複数の力でということで、この組合組織を思い出していただけると幸いである。1つ1つきらりと光る取組が見えて多いなと思った。これを何か有機的に結びつけられたらもっと面白くなるのではないかというところを私なりに今後考えていきたいと思う。

A 委員:佐倉市の強みとは何だろうというときにぱっと出てこない。例えば、外の友達が佐倉の方に来るからどこ行けばいい、面白いところはあるかと。何かイベントをやっているときはいい、YMOもあったが途中の県か国への報告が終わったらもうトーンダウンしてしまった。何か皆で考えて佐倉はこうだよという佐倉の強みがあったらと思う。

G 委員:花も、桜もいいが、一過性というか、その3月のこの時期だけすごいぱっとする。桜のほかに梅とか、何か別の花もあると、管理が大変だが、色んなことで四季を通して回れるようなことが1つないのかなと思う。後は城で、先ほどバーチャルでも何とか考えてという話があったが、私も結構旅行に行ったりするが、やはり国内だと城があると急に行きたくなるので、それこそそういうのを造れと言ってもなかなかお金の面があるから、バーチャルでそういう城をといったような取組ができないのかなというのが1つ。もう1つは、麦とろについて、先ほどすごく大盛況ということで聞いているが、私も常々堀田邸などを何かこうレストランと組み合わせ活用できないのか、武家屋敷など、市が管理しているところに創業したい方をしっかり入れて、例えば、市役所の食堂をやっているところをお願いするとか。やはり人間食べないわけにいかないのだから必ず需要はあると思う。それを歴史的な雰囲気なところや文化的な雰囲気なところなどと結び付けたりしてはどうか。寿るがやさんについては、なぜ儲かっているのか、盛況なのかというのをもっと詳しく教えていただければと思っている。そういうゆったりとした雰囲気でもちょっと食べるというところが何かあれば。あとバーチャルの佐倉城も然りだが、何か飲食店と組み合わせはどうか。また、城の再建というのはもうないと考えていいのか。何か手はないのか。

→事務局(魅力推進部長): 図面がないので、再現しようがない。古河(こが)城が佐倉城を模して造ったものと言われており、おそらくそれに近いのだろうが、正確なものを造ろうと思うと造れない。

B 委員: それから小さいということと、大手門の方が立派で、写真まで残っているといったことが色々あるが、今からもう20年以上前か、商工会議所と観光協会と行政も含んで研究会をして、建てるようにするための予算を立てようというところで、調査費が出なくて頓挫してしまった。その時に関わった人たちはまだご存命なので資料はたくさん残っており、まだできないことはないと思う。

→事務局(経済環境部長): 文化庁がきちんとした図面とかがないと復元を許してないそうである。結局、建てるときに今ある土塁の石垣、天守台のところを、何らかの工事をする事になり、壊すのは基本的に駄目なので、完全にきちんと復元できるならいいけどという話は聞いたことがある。それがちゃんと図面が残ってないというところで引っかかっているという話は聞いたことがある。そのため工事に入れるかどうかはわからない。昔はまだ緩かったらしい。コンクリートで作ってもオーケーだったようである。今は、木造などできちんと再現しないといけないという話を聞いたことがある。

D 委員: 勝浦タンタンメンというのは1件だけじゃなく、町全体がタンタンメン作っていますよね。麦とろも1件ではなくて、佐倉中に回して「佐倉の麦とろ」にしたらどうか。ここは大和芋の産地なので、そこにつなげていったらどうか。

B 委員: タンタンメンはラーメンの類だとすると、佐倉市内にラーメン屋さんは相当数ある。麦とろ屋さんはそんなにない。市場として、麦とろ屋さんは何万件何万人に1件ぐらいしか成り立たない。先ほど A 委員が言われたように、YMOといって、佐倉で、Yが大和芋、Mが味噌、Oがお茶でやったのだが、それを素材にして、皆さんが食べられて何度も行きたいと思うような商品ができなかったというのが最大の失敗の原因であった。

F 委員: タンタンメンは、組合を作ってその組合で勝浦タンタンメンという地域団体商標を持っている。うまく時流に乗って結構知名度を上げた。何かそういう麦とろが脚光を浴びるような仕掛けをうまく作れたら、それこそ組織化して何か商標を取るといったこともありかなと思う。

F 委員: 農政課の報告の中で、「令和7年度に実施した事業」の5つ目に「農業者を含む地域住民で組織する24団体を支援」とあるが、こちらはあまりビジネスライクな団体ではないのか。

→事務局(農政課): こちらは、農家の方々の組織であり、日頃から田んぼの維持管理のために、水路の泥上げや農道の草刈などをしており、それに対して国から補助金が出ると

いうことで、それで組織化した団体である。また、ビジネス的に、というよりは地域的な繋がりを維持するための団体である。今現在24団体あり、来年度はプラス3団体設立予定ということで、国、県、市それぞれでお金を出し合って支援していくというものである。

F 委員:いすみ鉄道の「応援団」という任意のグループ組織があつて、彼らは沿線に菜の花などを植えたりして沿線の環境美化を一生懸命やっていたりする。あれはローカル鉄道ファンで、ボランティアでもやりたいと言って、来てくれる人がいるので成り立っていると思うが、駅に来た人にレンタサイクルをしたり、ポップコーンを売ったりと、ちょっとビジネスライクな取組もしていた。佐倉城の何か応援団のような組織というのは今あるのか。

B 委員:ない。

F 委員:城ファンや城好きが一定数いるのかなと思ったので、応援団なども任意で組織できれば、そういう人たちの力を得て、何かできないかなと思った。

A 委員:大手門だけ作るというのも、現実的かもしれない。今だと城址公園に行ってもどういふ感じというのがイメージできない。佐倉市で、例えば市民に佐倉の魅力って何かという募集するなどして、そういうところからエリアを拾って、何かあれば会議所の方も応援できるし、みんなもそれこそ応援団も立ち上がってくるし、それをビジネスの一環として、商店街の方も何かと、本当にそういうところを応援していきたいと思う。

A 委員:たくさんの意見をいただいた。きっと今日のお話を市の方も或いは我々も共有して、佐倉市がよくなるように、僕らも応援団のつもりでよろしくお願ひしたいと思う。

3. その他(連絡事項等)

事務局から、今後の予定及び報酬等について説明。

閉会